

# 「平城京遷都」を成し遂げた 女帝元明天皇とは

大河ドラマ的  
女性天皇の生涯!?

元明天皇は在位中(707年~715年)「和同開珎」の鑄造、「藤原京から平城京への遷都」、『古事記』や『風土記』の編纂などを実行した女性天皇です。

彼女は天智天皇の皇女として生まれいここである草壁皇子の妻となり、子どもたちも天皇(文武天皇・元正天皇)になります。しかし、息子である文武天皇が崩御したことにより、自らも即位することになります。

このような状況から女性天皇は政権維持のため「中継ぎ」として捉えられがちですが、真実はどうだったのでしょうか。

当時の政治背景や女性天皇の政治家としての手腕などについて講師の研究の一端をお話しいたします。



講師：鈴木織恵氏（すずき・おりえ）  
淑徳大学准教授

平凡社で『21世紀大日本史』の編集執筆。  
東京大史料編纂所研究支援推進員、  
神々の国しまね実行委員会学芸専門員など  
を経験。

●日時：10月6日（金） 14:00~16:00

●場所：タワーホール船堀 4F 研修室（都営新宿線・船堀駅すぐ）

●定員：60名

参加費無料

お申し込みは電話またはファクスで、9月11日（月）9:00から受け付けます。

江戸川区女性センター（江戸川区船堀 4-1-1 タワーホール船堀 3階）

TEL：03-5676-2455 FAX：03-5676-2458

※子どもの保育（2歳以上の未就学児8名まで。申し込み順）、  
手話通訳をご希望の方は、9月25日（月）までにお申し込みください。